

やまがた 議会だより

令和2年4月

No. 132

第1回 議会定例会

住み甲斐ある村づくりへ2ページ

令和2年度予算決まる

注目の事業は.....3ページ

- ・一般質問の要約4ページ~8ページ
- ・キャッチボール8ページ

4月3日(金) 山形保育園にて

《おともだち なんにん できるかな》

ご入園おめでとうございます

住み甲斐ある村づくり

地域の力 共助力 村民力の高揚へ

令和2年

第1回議会定例会

第1回定例会を3月2日に開会し、12日までに11日間開催した。

議案23件、発議1件を審議のうえ可決した。一般質問は9・10日に12人が登壇し、村政全般について質問を行なった。

議案

- 大日連絡班集会施設用地の負担付き寄附の受け入れについて
- 長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
- 山形村子育て支援センター施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 山形村交通安全条例の一部を改正する条例について
- 特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

○職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例について

○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

○課設置条例の一部を改正する条例について
○課設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

○山形村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

○令和元年度山形村一般会計補正予算

○令和元年度山形村国民健康保険特別会計補正予算

○令和元年度山形村後期高齢者医療特別会計補正予算

○令和元年度山形村介護保険特別会計補正予算

○令和元年度山形村清水高原簡易水道特別会計補正予算

○令和2年度山形村一般会計予算

○令和2年度山形村国民健康保険特別会計予算

○令和2年度山形村後期高齢者医療特別会計予算

○令和2年度山形村介護保険特別会計予算

○令和2年度山形村清水高原簡易水道特別会計予算

○令和2年度山形村水道事業会計予算

発議

○山形村議会委員会条例の一部を改正する条例について

主な事業等補正予算

民生費

○自立支援事業扶助費 990万円

農林水産業費

○松くい虫被害対策緊急伐倒処理工事 141万7千円

土木費

○道路新設改良工事 543万4千円

教育費

○小学校校内LAN設置工事 2千132万3千円

○パソコンの配線設備 350万円

○農業者トレーニングセンター体育館屋根改修工事 527万7千円

工事の発注状況

○令和元年度 防犯灯村内全灯LED化計画に伴う防犯灯単独柱建替工事12箇所 4千224万円

○スカイランドきよみず空調設備改修工事 299万2千円

○令和元年度山形村一般廃棄物最終処分場トラックスケール更新工事 345万4千円

○令和元年度道路維持工事 下大池消防詰所前歩道新設工事ほか2件 1千45万円

○令和元年度社会資本整備総合交付金交差点改良工事 唐沢下道路築造工事 187万円

○令和元年度道路改良工事小坂下北沖 1千56万円

○令和元年度道幅拡充工事に伴う水道橋移設工事唐沢下(第二唐沢橋上段)

1千56万円

令和2年度一般会計予算

36億1,190万円

災害対策強化

施設整備等により

3.6%の増加とした

「ふるさとふるさと伝承館」の取り壊し



昭和28年建設の
現ふるさと伝承館
(旧役場庁舎)

令和2年度 注目の事業

防災

○指定避難所生活環境改善事業、指定避難所防災機能強化事業

農業者トレーニングセンターとミラ・フー
ド館のトイレ改修工事

子育て支援

○認可私立保育所（やまのこ保育園）への空調設備の設置補助、ふれあい児童館の空調設備改修工事

観光

○清水高原の景観整備のため、スカイランドきよみず周辺の整備、ライブカメラを設置し、インターネット経由で画像の配信

土木事業

○県道塩尻鍋割穂高線の唐沢交差点改良工事に伴う村道改良工事、村道1級3号の南野尻の舗装修繕工事

保健福祉

○ロタウイルス予防接種の事業、認知症の徘徊者対策としてQRコードの活用、熟年体育大学に代わり、運動バラエティパック事業

歳出

民生費	
10億8,541万円	29.7%
土木費	
4億100万円	10.9%
衛生費	
3億5,222万円	9.6%
消防費	
1億5,450万円	4.2%
教育費	
4億7,035万円	12.8%
農林水産業費	
1億9,868万円	5.4%
商工費	
3,458万円	0.9%
公債費	
3億609万円	8.3%
総務費	
5億8,189万円	15.8%
その他	
8,718万円	2.4%

歳入

村税	
10億201万円	27.3%
地方交付金	
12億1,960万円	33.1%
国・県支出金	
5億1,397万円	13.9%
村債	
3億440万円	8.3%
その他	
6億3,192万円	17.4%

国民健康保険特別会計	9億9,777万円
後期高齢者医療特別会計	8,002万円
介護保険特別会計	7億3,540万円
清水高原簡易水道特別会計	1,667万円
上水道事業会計	給水戸数 3,250戸 2億2,243万円
下水道事業会計	水洗化人口 8,648人 4億4,626万円

議員12人が

村政を問う

一般質問

定例会の一般質問は、3月9・10日に12人が23件を行いました。

質問議員が要約したものを掲載します。

一般質問とは

一般質問は、村が行なうすべての事務や事業に関して、何でも質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会のみ、臨時会ではできません。



県営競争力強化
基盤整備事業「畑総」について

福澤倫治議員

村長 三間沢川の土砂撤去が重要と考える

畑総の進捗状況はどうなっているか。

現在の進捗状況は37%、令和2年度まで延長される。

Q 昨年の台風19号では被害が出た。今後
の災害に備えて、排水路となる三間沢川
下流の土砂撤去の取組は、松本建設事務所・
松本振興局との交渉は進んでいるか。

A 三間沢川下流の土砂撤去は優先箇所と
考えている。県庁を訪問し、この土砂撤
去は建設部長より前向きな回答を得た。

● 質問時間は60分

山形村では、議員が質問できる時間は
答弁を含めて1人60分以内です。

● 一問一答方式

質問は、一つ質問して一つの回答を得
る一問一答方式です。より問題を深め
られる方法とされています。

● 事前通告

質問したい議員には、前もって質問内
容を記した事前通告書の提出を義務付
けています。

Q 介護保険事務所の閉鎖に伴う、村の福
祉に対しての影響は。

A 協立福祉会のグループホーム「なのは
な」休止については、この施設の入居希
望者は、他の施設が利用できるよう調整した
い。

Q 最後の砦となる行政組合組織、特別養
護老人福祉施設「ピアやまがた」のデイ
サービスが、令和2年度末に廃止となる。ま
た、25年問題も迫っている村の対応は。

A 「ピアやまがた」のデイサービスは民
間法人等への貸与に向け募集中である。
25年問題へ向けての対応は、医療機関、介
護サービス事業所など他業種が参加する連絡
会で、情報の共有化を図り対応をしている。



気候非常事態宣言と対策は

三澤一男議員

村長 第三次環境計画に沿って取り組んでい
る

Q 温暖化ガス排出量の現状と、目標の数
値化は。

A 現行の環境基本計画に基づき、さまざま
な環境施策に取り組んでいる。温暖化
対策については、その必要な課題が取り上げ
られているが、直近の温暖化ガス排出削減の
具体策はない。

Q 非常時での電源確保として、避難所や
公共施設に太陽光発電システムの設置と
施設周辺の電柱地中化は。

A 昨今の災害対策では、避難所運営の課
題と非常用電源の確保は、大きくクロー
ズアップされている。特に避難所での生活に
は、電力の不足が重大かつ深刻な事態につな
がる。その必要性はだれもが認識し、民間で
も積極的に取り組みをしている。

本村においても可能性を研究することは、
非常に意味のあることだと思っている。また、
施設周辺の電柱地中化も今後の課題だと考え
ている。

その他、「環境配慮型自動車の購入、EV
車用充電スタンドの設置、すべての公共施設
の電灯LED化、観光と水力発電を兼ねた水
車の設置研究を」について質問した。



**山形村ハザードマップの
説明と関連情報の紹介**
ホームページの防災関係は

百瀬昇一議員

村長 ホームページのリニューアルを3月行なう、防災関連情報についても充実させたい

Q ハザードマップは、どのようなものになるか。

A マップだけでなく、冊子形式で「地震や風水害への備え」、「自助共助の取り組み」などの災害関連情報を掲載する予定である。

Q 役場庁舎内の管理は、どのように行なっているか。パソコン関係、個人情報、不審者侵入などの対策は。

A パソコン関係は、過去のネットワークのウイルス感染の反省の上、ネットワーク三層の情報セキュリティ対策を講じた。

役場庁舎管理においては、個人情報保護のため、部外者の立ち入り制限、夜間は宿直者土・日曜祝日（年末年始を含む）は日直者の常駐により管理をしている。

Q 学校、保育園での外部者対応は、不審者・犯罪者を近づけない学校・地域づくり、リスク・危機管理は。

A 保育園、小学校ともに今までの対策や訓練を実施している。不審者侵入等の抑止効果となる、防犯カメラを平成30年度末に設置した。



**山形村の農業は
これからも守られるか**

上條倫司議員

村長 現在の農地面積は約800ha、将来的にはこれを維持する組織が必要

Q 風食は災害だと思うか。

A 風食は村で取り組むべき課題としている。以前より風食対策検討委員会を立ち上げ、気象システムを活用した風食情報を流し、畑の所有者にはあらゆる対策を講じてもらっている。今これという特效薬はない中、それぞれの立場で理解と協力を願いたい。



**第5次総合計画の
進捗状況と達成は**

大月氏夫議員

村長 庁内関係部署で啓発活動の強化を図る

Q 特定健康診査の受診率は、数年にわたる30%台を推移しているが、50%達成を目指す目標への進捗状況は。

A 近年は受診率38%前後、県内では不本意ながらワースト4位となっている。庁内関係部署で連携し、未受診者には直接話をするなど、啓発活動の強化を図っていききたい。
Q ゴミの排出量削減に向けた、取り組み状況は。

Q 風食で舞い上がる土埃で健康被害が心配になるが。

A 風食の土埃による健康被害との因果関係は把握できていない。土埃などによる健康被害対策は、それぞれで対応してもらいたい。

その他、「農業支援策と農業後継者の育成」について質問した。



ふれあいドームの向こうが…

A 松本クリーンセンターに持ち込まれる一般廃棄物の状況は、事業系のごみは減少傾向になっているが、家庭から出る可燃ごみが増加傾向となっている。

廃棄物としての処分から、リサイクルに回す資源化の啓発に力を入れ、生ごみ処理機の活用や、堆肥化策等の推進を図りたい。

その他、「ボランティア活動団体数の増加、耕作放棄地の解消目標、スカイランドきよみず宿泊者の増員、教職員の時間外勤務の削減、審議会における女性の登用率の向上」などについて質問した。



小学校で必修化される プログラミング教育の 指導体制の基盤づくりは

竹野入恒夫議員

教育長 外部講師を招き、実践的な研修を行

ない教職員のスキルアップを図った

今年4月から小学校で必修化される、
コンピーターでのプログラミング教育の
最低限必要な指導体制基盤は整っているか。

この教育の実践的な研修や模擬授業などは行
なったか。

小学校では、外部講師を招いての研修
会を4回、公開授業や研究授業による実
践的な研修を5回行ない、教職員のスキルア
ップを図った。



過去3年間の評価と 残り1年の展望を

小林幸司議員

村長 限られた予算の中で、最大限の効力が
上がるように予算執行に努めたい

村内の道路の補修・整備状況は。

県道については、松本建設事務所など
と連携して事業を進めている。

村道は433路線あり、総延長176kmとなる。す
べてを再舗装するには、約50億円が必要とな
るため、整備の進め方を検討している。

住民と農業の関わりは。

教職員は、何名が研修や模擬授業を何
回行ったか。

全員が参加し、模擬授業は5年生、6
年生が算数と理科で6回行った。

プログラミング教育に精通した職員の
確保は出来ているか。

一部の専門教員でなく、全教員に必要
な知識や技能である。

4月から英語、道徳の教科化も始まる
が対応は。

道徳は平成30年から特別教科として、
すでに行なっている。英語は平成30年、
令和元年に、学習時間は年間70時間確保し、
教科化に備えた。

その他、「成人式、風疹」について質問した。

山形村は、松本市や塩尻市のベッドタ
ウンとしての地理的特性と、800haとい
う肥沃な農地を充分活用する農業が互いに調
和し、村民の多様な生活様式や価値観の違い
を力に変えることのできる、村民力の高い村
であって欲しいと考える。

山林資源の活用、再生に森林税を。

現在は、清水高原中心に、観光地など
「魅力向上森林景観整備事業」に取り組
み、整備を行なっている。その他、気象災害
の被害林整備にも補助金を利用し、整備して
いる。

その他、「ふるさと伝承館の跡地利用」に
ついて質問した。



スカイランドきよみずの活性化 及び関連公共施設の管理は

百瀬 章議員

村長 令和2年度から指定管理者であるドリ
ームホテルと、より密に連絡調整

指定管理者との協定案の骨子は。

現在の協定書を基本とし、施設の改修
や備品等の扱い、利用料金及び指定管理
料、事業報告書の作成提出、緊急事態の施設
利用などについて取り決める。

現段階で、集客増のための新規事業は。

プレゼンテーションにおいては、地元
食材を活用した料理の提供、やまっちょ
ばのPRとそば集落との連携、ドッグラン、
動物とのふれあいパークの新設、夜景や星空
を活かしたグランピングを研究するとしてい
る。

スカイランドきよみずを継続するため
には、「清水高原簡易水道施設」の維持
が不可欠だが。

昭和46年創設した水道事業で、平成に
入り排水管や導水管の布設替えを行なっ
ている。しかし、浄水施設は当時のものを使
用しており、特にろ過機は耐用年数の3倍を
経過している。どうにか延命してきたが、
今後施設更新をしていく。

その他、「CSF（豚熱）及び有害獣対策」
について質問した。



不登校児童生徒への対応は

大池俊子議員

教育長 複数の職員でチームを組み、スクールソーシャルワーカーなどと連携している

不登校の原因は、いじめや貧困の影響も出ているか。

A 小学校では、無気力、漠然とした不安などの原因はある。いじめや貧困理由はないが、家庭の状況によるものが多い。

Q 中学校は、いじめを除く友人関係、教職員との関係、学業不振や家庭、入学・進級時の不適応などの複数の要因がある。

A 不登校児童・生徒への対応、家庭への支援は。

Q 小学校は学級担任、擁護教諭、相談員、教頭、適応指導コーディネーターなどでチームを組み、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携し、組織的な対応をしている。保護者ともに同一歩調をとっている。

A 中学校は3日間の欠席から家庭訪問し、長期にわたる欠席の場合は、学年会や適応指導委員会等を開催し、情報の共有化を図っている。

その他、「気候非常事態宣言を、介護施設の有効利用を」について質問した。

その他、「気候非常事態宣言を、介護施設の有効利用を」について質問した。



ウイルス性感染症の対策は

春日仁議員

教育長 体温確認、マスク着用の徹底、アルコール消毒液の設置を行なっている

保育園、小学校、高齢者施設などで「新型コロナウイルス感染症」の対策は。

Q 保育園では発熱や体調不良がみられる場合は、登園を控えるようにしている。手洗い、うがいや手指の消毒を行ない、保育士はマスクを着用し、感染症の防止に努めている。

A 不登校児童の願いや訴えを整理し、組織的な対応を図る

不登校児童の実態と取り組みは

小出敏裕議員

教育長 不登校児童の願いや訴えを整理し、組織的な対応を図る

Q 不登校の定義は。

A 病気や経済的理由以外で、年間30日以上欠席したものと定義する。

Q 過去5年間における不登校児童数は。

A 平成27年度から30年度の不登校児童数は、27年度が2名、以後2名、0名、3名、4名と増加傾向にある。

Q 不登校児童への取り組みは。

小学校は3月2日から3月18日まで、臨時休校とする対応をしている。

高年齢施設では、入館前の体温確認、マスク着用の徹底や消毒液の設置を行なっている。

Q インフルエンザの予防として、予防接種以外の方法も研究してはどうか。

A 食材による免疫力向上や空間のウイルス除去は。

継続的な効果や安全性の有無、初期投資額やランニングコストなど、総合的に研究していくことが必要と考えられる。

その他、「村の災害対策は」について質問した。

「未然防止」、「初期対応」、「社会的な自立支援」を柱とし、保護者とも連携を密に取り、同一歩調で支援を行なっている。

Q 教職員の労働時間と働き方改革の取り組みは。

A 平成30年度と令和元年度の多忙時期における、時間外勤務時間の前年対比は、多少の増減はあるが縮減傾向にある。

働き方改革の取り組みは、指紋認証による出勤管理、計画的年次休暇取得の推進、長期休業期間に学校閉庁日の設置を行なった。また、スクールサポートスタッフを配置し業務の分業化、給食費の公会計化による事務負担軽減等を図っている。

その他、「高年齢者・障がい者の福祉事業は」について質問した。

その他、「高年齢者・障がい者の福祉事業は」について質問した。

その他、「高年齢者・障がい者の福祉事業は」について質問した。



豊かな自然を 持続させるためには

新居 禎三 議員

村長 行政と村民の皆さんとの協働で取り組まなければならない

Q 当村は豊かな自然に恵まれ、いろんな農産物を栽培出荷している。しかし、最近では異常気象が頻発し、その影響が心配される。

県はG20軽井沢大臣会合で、持続可能な社会づくり協働に関する長野宣言を発信し、50年にはCO₂排出をゼロにすることを決意、県民一丸となり省エネ、再生可能なエネルギー普及拡大推進の取り組みを進めるとしている。山形村もこの「気候非常事態宣言」に賛意している。そこで、村としてどのような対策が必要と考えるか。

A ここまで変化してきた世界の気候現象を直ちに抑え、元に戻すことは難しい。今の異常気象にどう備えるかが課題だ。

異常気象は、村の基幹産業である農業をはじめ、いろんな面で不安をもたらす。

複合的な災害発生も考えられる中、今できることは、過去に経験したことを検証し、次への準備を行うことが必要。

このことは、行政だけでは不十分であり、村民と共に役割を理解して、取り組んでいかなければならない。

キャッチボール

私の一言



真の幸せを求めて

(上竹田) 唐沢 美人

山形小学校玄関の大きな桜が、満開に咲き春を迎えるこの時期、新型コロナウイルスの蔓延で世界中が震撼しております。

近年は、大きな自然災害が私たちを容赦なく襲いかかりますが、デジタル化とグローバル化が進み、科学技術の進歩と高い経済発展を遂げても、自然をコントロールできない現状に、人間の無力感を感じます。

自然の力への畏怖を全村民が自覚するならば、私たちの真の幸せとは何かと問いながら、これからの村の展望を描く時だと思えます。苦難の時こそ心から寄り添い、助け合い励まし合う山形村民の一人でありたいです。



編集後記

新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるっています。長野県でも罹患者が出ました。その個人名を特定したかのようなど、風評被害も発生しました。デマを流すことは、犯罪行為になります。真に受けてさらに広げることのないように、真摯を見抜く人間力を身につけたいものです。

百瀬 章



山形村に移り住んで

(下竹田) 尾松 茂人

山形村に移り住んで、24年が経ちました。村は自然豊かで、人も気さくに話しかけてくれます。ただ、春先の土埃がなければと思います。いろいろと対策が模索されているようですが、特効薬が見つかりません。早期の解決を望んでやみません。

また、常会への未加入問題も、頭を悩ます問題です。今後、常会と地区、常会と行政の密接な関係を考慮して、時代に合った体制づくりを考えなければならぬ時期が来ているのだと思います。

お詫び

前号No.131の誤りの訂正をします。

7ページ 上から3行目

志摩市のSDGs

SDGs

発行責任者

議長 三澤 一男

議会広報編集特別委員会

委員長 百瀬 昇一

副委員長 小出 敏裕

委員 大池 俊子

委員 竹野入恒夫

委員 百瀬 章

委員 三澤 一男